

平成 23 年 5 月 10 日

平成 23 年度第 1 回地域保健福祉専門分科会 レジメ

1 今後の進め方（予定）

5 ～ 7 月	8 ～ 9 月	1 0 月	1 1 月
■ ■ ■ 第 1 回分科会（主に素案の総論部分） 第 2 回分科会（主に素案の各論部分） 第 3 回分科会（素案の全体調整） → パブリックコメント原案	■ → ■ 福岡市議会常任委員会報告 パブリックコメント	■ 答 申	■ 計 画 決 定

2 これまでの審議のふりかえり

（1）過去 3 回の地域保健福祉専門分科会における意見及び計画案への反映状況整理【資料 1】

（2）次期保健福祉総合計画の施策体系（案）【資料 2】

3 福岡市保健福祉総合計画 第1部・第2部（総論部分）の審議

（1）素案の総論部分の概要説明と審議【資料3（概要）】【資料4（素案本文）】

（2）本市の保健福祉施策のマスタープランとしての評価のあり方

4 平成22年度福岡市高齢者実態調査報告書の概要【資料5】

5 平成22年度福岡市障がい児・者等実態調査報告書の概要【資料6】

○ 本市の保健福祉施策のマスタープランとしての成果指標（案）

案 ①

3つの視点である「自助」「共助」「公助」ごとに、計画の理念の実現にどれだけ近づいたかを計る指標を設定、市民意識調査を毎年度実施して、計画の進捗や施策の有効性を評価する

【例】「自助」であれば、“健康であると思う人の割合”を78.5%（21年度）から80%にする 等々

案 ②

マスタープランの理念を、より具体的・専門的に実現する分野別計画（「高齢者保健福祉計画」など）で定める計画目標(量)等をモニタリングすることにより、計画の進捗や施策の有効性を評価する